



独航船続々と帰港

水揚げ最高は四千万円

警城市の小名浜、江名、中之作三港から出漁した北洋のサケ・マス独航船は、三か月ぶりに帰港中だが、いずれもA区域で操業、割当てを達成した。

一方、B区域で操業中の流し網船もこの航海で操業を打ち切り月末から来月初めにかけ帰港する。

小名浜漁協組の漁かく実績調べによると、独航船は四千万円から七千万円から八百万円、これは最終的に独航船と大差がなさうだといふ。一方、エナジフ船は六百万円外のかせぎで漁期が短かく、後

高潮の心配なし

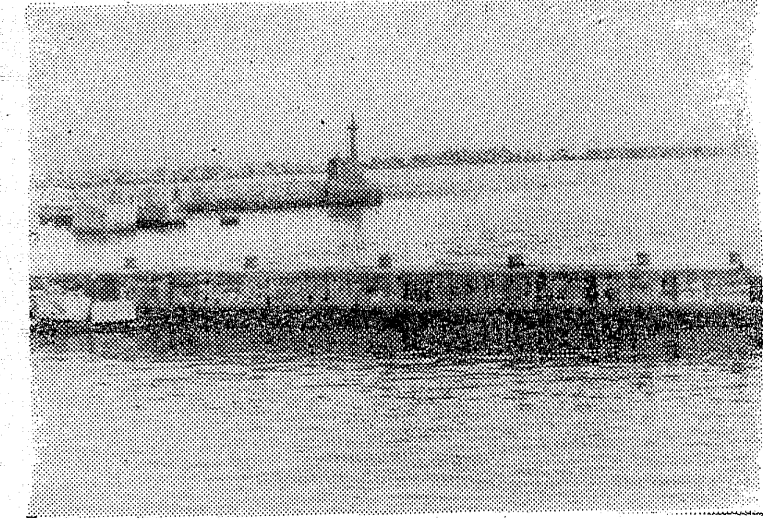
中之作東防波堤が完成

警城市中之作港沖の東防波堤の作漁協組(吉田喜好組合長)の手配で、二十九日午後一時から組合員約二百名が参加して、完成式と西防波堤の起工式は中絶式で行なわれる。

東防波堤は三十一年十一月、県が工費一億二千万円を投じたもので延長三三三・八六六、高さ四・七メートル、二応船たまりとして後立ち、台風、高潮をわきまを解消される。

また、この種工する西防波堤は今年度から十四年度までに完成する。

【写真】完成した東防波堤



発行所 共同観光開発株式会社
社長 金古政通
平市田町75番地
電話2104・2105番
警城支社電②4049

☆チヨダシューズ
☆ニツボンシュー
おしやれの靴
靴の
スガク
平市一町目 電4056

これは十九日からの梅雨明けで気温が急激に上昇したため、梅雨期間中、成育が軟弱だった「稲」にイモチ菌が繁殖しやすくなっている。予防は早期発見で、水銀粉剤、同にゆりなどを併用し、共同防除、絶滅をはかる。

田人村世帯調査

石城郡田人村は二十日現在で全世帯を調査した。これを基本に住民登録と選挙人名簿などを編纂する。めいばは八月一日から十日まで村役場で閲覧する。

いわき歌話会

24日北見公民館で例会
いわき歌話会(鈴木謙四郎会長)の七月例会は、二十四日午後一時から平市の北見公民館開。作品は一首、二十日までの大内写五郎さん宅で受け付け中、会費は会費代として両円。

お便りコンクール

夏休み小、中学生から

福島郵便局主催の第十二回「夏休みお便り」コンクールは、二十一日から八月三十一日まで行なう。これは夏休み中に小、中学校の生徒から先生あてに差し出したお便りのコンクール、これを郵送して郵便への理解を深める。

先生夏に鍛える

8月28日スポーツ大会

県教育委員会、教員組合石城支部主催平市、県PTA連絡協議会後援の第八回県教職員スポーツ大会石城地区大会は、八月二十八日午前九時から警女、警高など四会場、約二百人の教職員が参加して

葉イモチ病 予防徹底へ

平市農林課は、これから多発のおそれがある「葉イモチ病」の早期発見と予防を農家に呼びかけて

甲子高原へ旅行

平市日銀町地区PTA(塩田春雄会長)は児童生徒五十八人と二十七日から一日二日の予定で白河甲子高原へ旅行する。

予防徹底へ

平市農林課は、これから多発のおそれがある「葉イモチ病」の早期発見と予防を農家に呼びかけて

わが道を行く

作品展を開く高瀬画伯

朝起きて服を脱ぎ、そして茶をたて、そして一坪の「アトリエ」に。これが平市旧城跡三、洋画家高瀬勝男画伯(六〇)の朝の仕事始め、きのうの夕方、アトリエをのぞく。

「オヤ、珍らしい。丁度いいや。八月八日から十三日まで東京の中央公論画廊で作品展を開くことになりましたよ。」

と自信満々の熱気のある言葉が口に出た。この人の画壇はもう長四十年、作風活動も心算派となっていて、抽象、具象、具象などいろいろな画壇の動向には一向かかわりなく仕事を続けてきた。「わが道をゆく」との高瀬さん。それがまた「わが道の常連だ」といふ。

この作品展も四回目で、これは三十五号大のものなど宗教的なテーマの作品二十四点出品

「わたしの知人、村山順天堂大学教授が交換教授として渡独したさい、ガーバイン博士の応接間に高瀬画伯の画がかざって

「わたしが作品展を開くのは高瀬の仕事をしていてということを見てほしいのだ。経済が許せば毎年でも開きたい。わた

「わたしの制作信念は絵筆一本に情熱をこめて自己を燃らす下げる。これは絶対曲げないし、なまけもしない、だから画壇の動向には無関心で、オマツカもつかない。」

この生き方は利口かバカかわるは人が見ていてくれる。

この言葉は直情径行な画家高瀬の人となりがよく出ていて、ほろろと、もと平市に在住、いまは東京の人、鎌谷小波の画廊、崎小島さん(文治)が中央に平を紹介したのは高瀬君と賞めちぎったほど、それでいて平市から一回も文化功労者として表彰されていないのはどうしてかと

「文化勲章(笑)などいらんわい、たがわが道を行く、これだけハッパッパ……」

朗らかな笑いが響く、きつて、この個展でも日本画壇に反響を呼ぶだろう。あたりはたそがれ、アトリエの中に夏草のにおいが流れてきた。

【写真】出品作を仕上げる高瀬勝男画伯

高瀬勝男氏画展

平四小PTA資金づくり

八月中央公論丸ビル画廊 高瀬勝男画伯(白城平市在住、高瀬勝男画伯(白城育石城教育庁事務所)。

平四小(金成孝一校長)の児童たちは、さきに平三小で開かれた予選会へ入賞、二十八日福島市教育会館で開く県音楽祭に出場することになったが、音楽で県大会出場は開校以来のこと、予選も準備しなかつた。

「これを聞きつけた同校PTA(松本金太郎会長)は、児童に心配かけてはよ成績もこれはないと、戸百円のきま金を呼びかけて費用

「わたしが作品展を開くのは高瀬の仕事をしていてということを見てほしいのだ。経済が許せば毎年でも開きたい。わた

「わたしの制作信念は絵筆一本に情熱をこめて自己を燃らす下げる。これは絶対曲げないし、なまけもしない、だから画壇の動向には無関心で、オマツカもつかない。」

この生き方は利口かバカかわるは人が見ていてくれる。

この言葉は直情径行な画家高瀬の人となりがよく出ていて、ほろろと、もと平市に在住、いまは東京の人、鎌谷小波の画廊、崎小島さん(文治)が中央に平を紹介したのは高瀬君と賞めちぎったほど、それでいて平市から一回も文化功労者として表彰されていないのはどうしてかと

「文化勲章(笑)などいらんわい、たがわが道を行く、これだけハッパッパ……」

朗らかな笑いが響く、きつて、この個展でも日本画壇に反響を呼ぶだろう。あたりはたそがれ、アトリエの中に夏草のにおいが流れてきた。

【写真】出品作を仕上げる高瀬勝男画伯

開院のお知らせ

7月18日

□ 盛夏の候皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて私こと叫多医院在職中は公私格別のご懇情を頂き誠に有難く厚くお礼申し上げます。

この度平市谷川瀬に内科・小児科医院を7月18日から開設致しましたので何卒今後共変らぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

松本医院

松本勝衛
平市谷川瀬三十九町48 電(平)8670

暑中お見舞い申し上げます

ご贈答に……

心をこめた
重宝な贈物!

キツチンスケール ¥.920

A型・ヘルスマ
一ター家庭用
¥.2,400

E型・ヘルスマ
一ター業務用
¥.2,600

合資社 石城計量社
平市谷川瀬三十九町
電8059・3468

開院のお知らせ

7月18日

□ 盛夏の候皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて私こと叫多医院在職中は公私格別のご懇情を頂き誠に有難く厚くお礼申し上げます。

この度平市谷川瀬に内科・小児科医院を7月18日から開設致しましたので何卒今後共変らぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

松本医院

松本勝衛
平市谷川瀬三十九町48 電(平)8670

開院のお知らせ

7月18日

□ 盛夏の候皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて私こと叫多医院在職中は公私格別のご懇情を頂き誠に有難く厚くお礼申し上げます。

この度平市谷川瀬に内科・小児科医院を7月18日から開設致しましたので何卒今後共変らぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

松本医院

松本勝衛
平市谷川瀬三十九町48 電(平)8670

